

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境施設課長 牧野 直樹	
環境-10	最終処分事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境施設課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	焼却炉から排出される焼却残さ
意図	焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。
効果	最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・焼却残さ全量を溶融固化し、路盤材等に加工することによって資源化を行った。 ・最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	焼却残さ溶融固化事業	焼却残さ溶融固化処理業務委託 等	焼却残さの資源化(%)	100 / 100	100	100	100.0%
				150,284 / 147,754	101,804		
02	最終処分場周辺維持管理事業	水質・ダイオキシン類検査、営農損失補償金 等	適切な維持管理に係る調査業務執行率(%)	100 / 100	100	100	100.0%
				3,156 / 4,307	4,299		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	153,440 / 152,061	106,103		
			事業費の合計(千円)	153,440 / 152,061	106,103		
		人件費(千円)		4,552	2,306		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.6	0.3			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	焼却残さ溶融固化事業	焼却灰の全量資源化(溶融固化処理等)を行った。	「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現に向け、焼却灰を埋め立てることなく資源化することにより、循環型社会の形成に寄与する。	安定的な処理を行うため、バックアップ体制を確保する。
02	最終処分場周辺維持管理事業	最終処分場の適切な維持管理に必要となる調査業務を実施した。	最終処分場の維持管理を行うことにより、適切なおみ処理体制の構築に寄与する。	最終処分場の廃止条件の拡大等について関係機関と協議を進める。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 稼働中の最終処分場を有していないとともに、ゼロ・ウェイストかまくらの実現に向け、引き続き焼却残さの全量資源化を行う。 廃止手続が整うまでの間、最終処分場(4及び5号地)の適切な維持管理を行う。 					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	焼却残さの資源化						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
焼却灰の資源化(溶融固化処理等)の実施状況を評価するため(令和6年度末で名越クリーンセンターの焼却停止)	目標値	100	100	100	100	100		
	実績値	100	100					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--